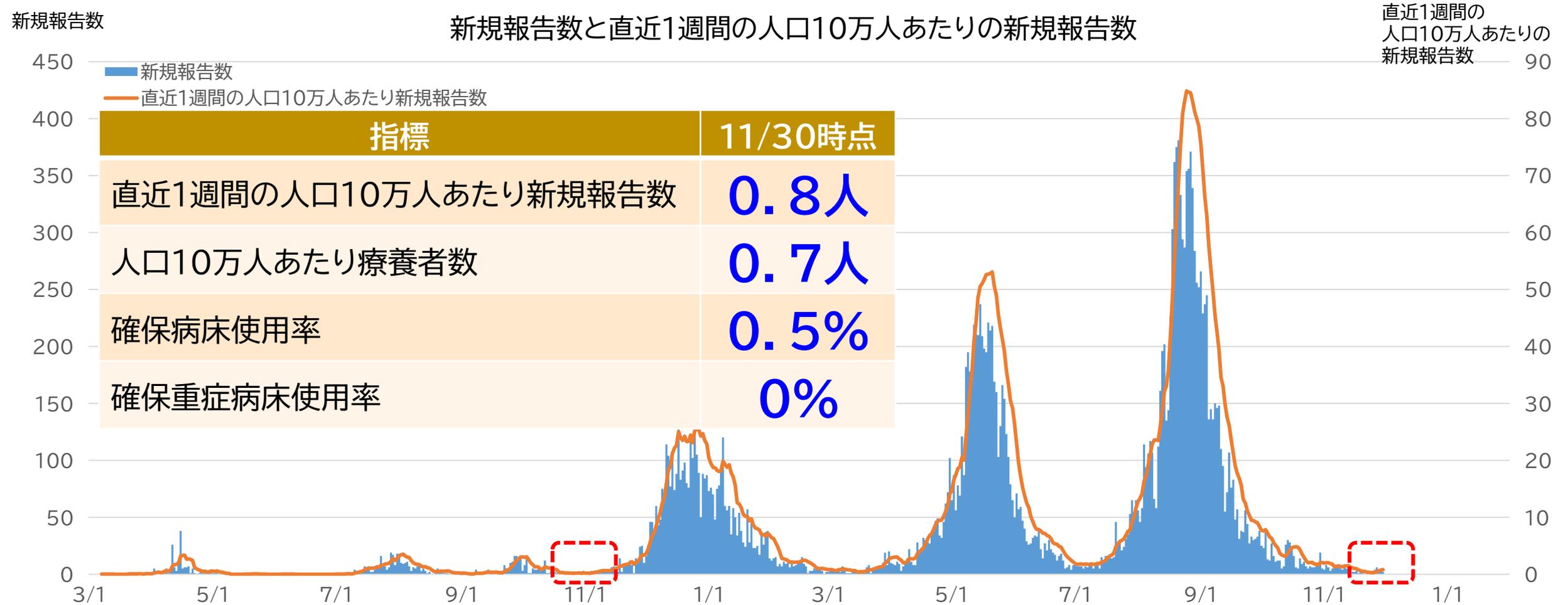


国の対処方針改正に伴う 県の今後の対応について

令和3年12月1日

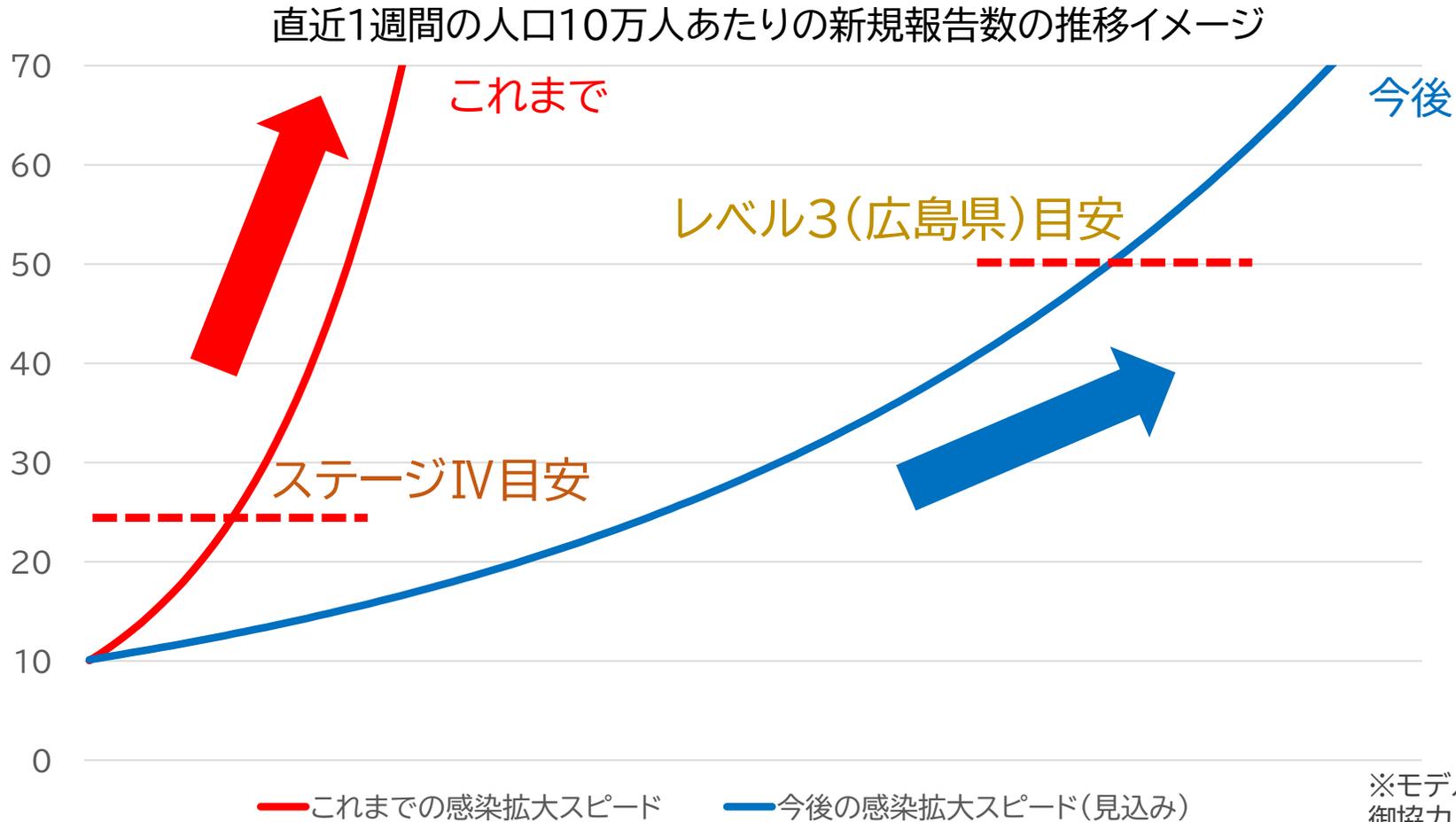
現在の感染状況



低水準が継続

感染対策の継続やワクチン接種にご協力いただき感謝申し上げます

今後の感染拡大の全体像



※モデル作成の御協力:広島大学 疫学・疾病制御学。
 ※ワクチン接種率(2回目)75%,
 ワクチン効果率50%と仮定。

**ワクチン接種+感染対策の継続により、
 これまでよりも緩やかな感染拡大となり、さらに重症者数等は今までよりも減少すると推測
 医療提供体制への負荷が軽減される見込み**

国の方針に対応する 県の対処方針改正

今後の方針

できるだけ感染拡大を抑え、医療体制の更なる強化により
可能な限り行動制限を避けることで
社会・経済活動を回復していく

それでも、感染が拡大する場面では
・県民の健康 ・医療への負荷 ・社会経済活動への負荷
のバランスを考慮しながら、**早く深く短い対策を速やかに実施する必要がある**

今から国とコミュニケーションをし、
緊急事態措置等の速やかな発出について国へ要請

ステージからレベルへ

これまでの考え方(ステージ)

段階	状況
ステージⅠ	医療提供体制に特段支障がない段階
ステージⅡ	感染者の漸増及び医療提供体制への負荷が蓄積する段階
ステージⅢ	感染者の急増及び医療提供体制における大きな支障の発生を避けるための対応が必要な段階
ステージⅣ	爆発的な感染拡大及び深刻な医療提供体制の機能不全を避けるための対応が必要な段階

新たな考え方(レベル)

段階	状況
レベル0	感染者ゼロレベル
レベル1	維持すべきレベル
レベル2	警戒を強化すべきレベル (感染者増加傾向であり、医療体制への負荷が生じはじめています)
レベル3	対策を強化するレベル (一般医療を相当程度制限しないとイケないと判断された状況。強い対策が必要)
レベル4	避けたいレベル (一般医療を大きく制限してもコロナに対応できない状況)

※政府分科会資料を基に県作成。

これまで以上に医療提供体制への負荷に重きを置いた考え方に変化

◇医療提供体制への負荷は感染のピークアウト後にピークを迎えること

◇療養場所に関わらず、全療養者へのサポート体制が機能することが重要であることを踏まえ、予測結果を活用した適切なタイミングでの対策実施を重視

レベルについて(概要)

レベル	目安
レベル0	2週間程度連続して新規感染者0
レベル1	
レベル2	新独自警戒基準値 1週間の人口10万人あたり新規報告数10~15人 ※感染スピード等を考慮し判断
レベル3	次のいずれかに該当 ①確保病床使用率50%超え ②確保重症病床使用率50%超え ③3週間後に確保病床使用率100%超えと予測 (参考値 1週間の人口10万人あたり新規報告数50人)
レベル4	次のいずれかに該当 ①確保病床使用率85%超え ②重症確保病床使用率85%超え ③1週間後に確保病床使用率100%超えと予測

{
 新独自警戒基準値を超え、
 レベル2移行後は
 レベル3に至らないよう、
 対策を行う

※数値は目安であり、感染状況や
 医療のひっ迫状況等を考慮し、
 総合的に判断

【現在はレベル1に該当】

レベル2以降の対策と実施タイミング

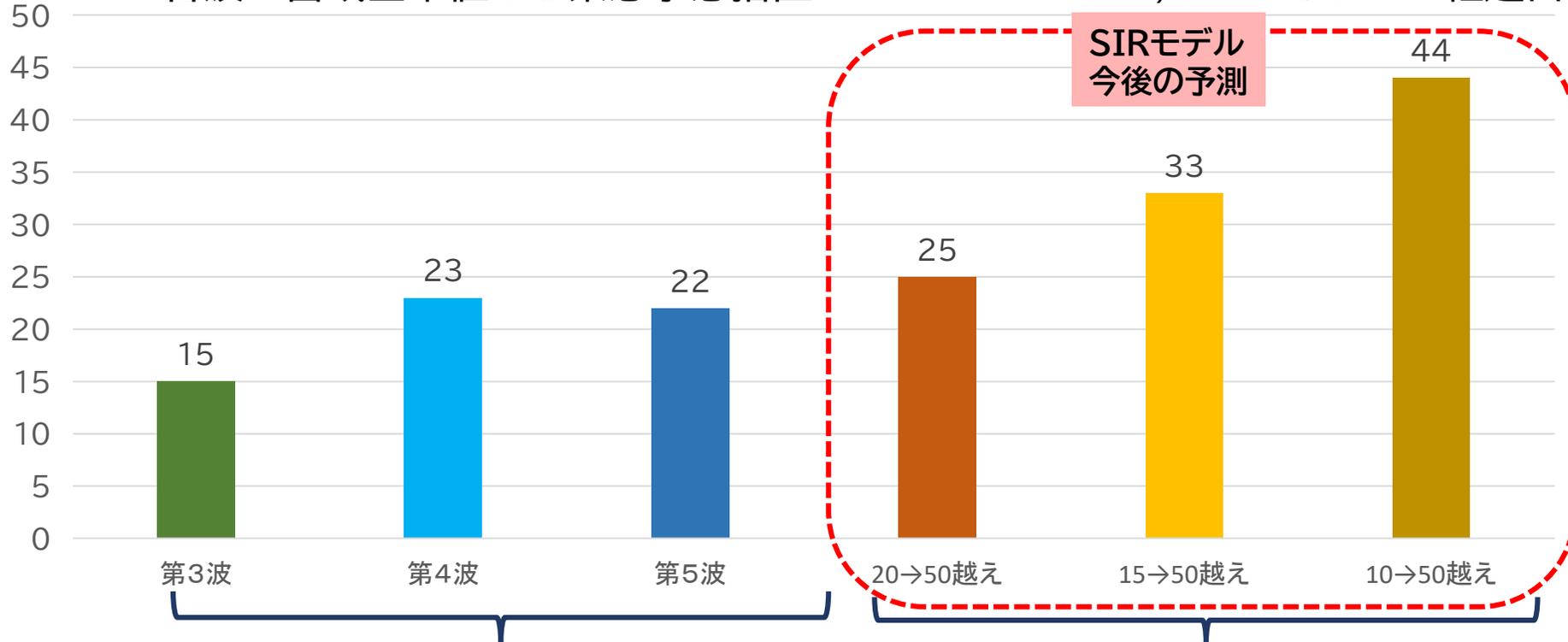
レベル2以降は病床使用率の予測を目安に、参考値も踏まえながら、レベル3に至らないよう、対策と実施タイミングを総合的に判断

目安： 病床使用率予測	参考値： 感染状況※	参考値： 病床使用率	アクション
	10~15 (新警戒基準値)		レベル切り替え (1⇒2)
3週間後に50%と予測	25	25%	状況について、国と密に コミュニケーション
2週間後に50%と予測	30	30%	県独自対策(外出自粛要請等) 国に対策要請
50%に到達	50	50%	レベル切り替え (2⇒3)

※直近1週間の人口10万人あたりの新規報告数
病床使用率は、感染者の年代構成等で変動幅があるため、
感染状況が先行して悪化する可能性もある。

県独自警戒基準値の見直し

各波の警戒基準値から緊急事態措置レベルのステージ4, レベル3までの経過日数を比較



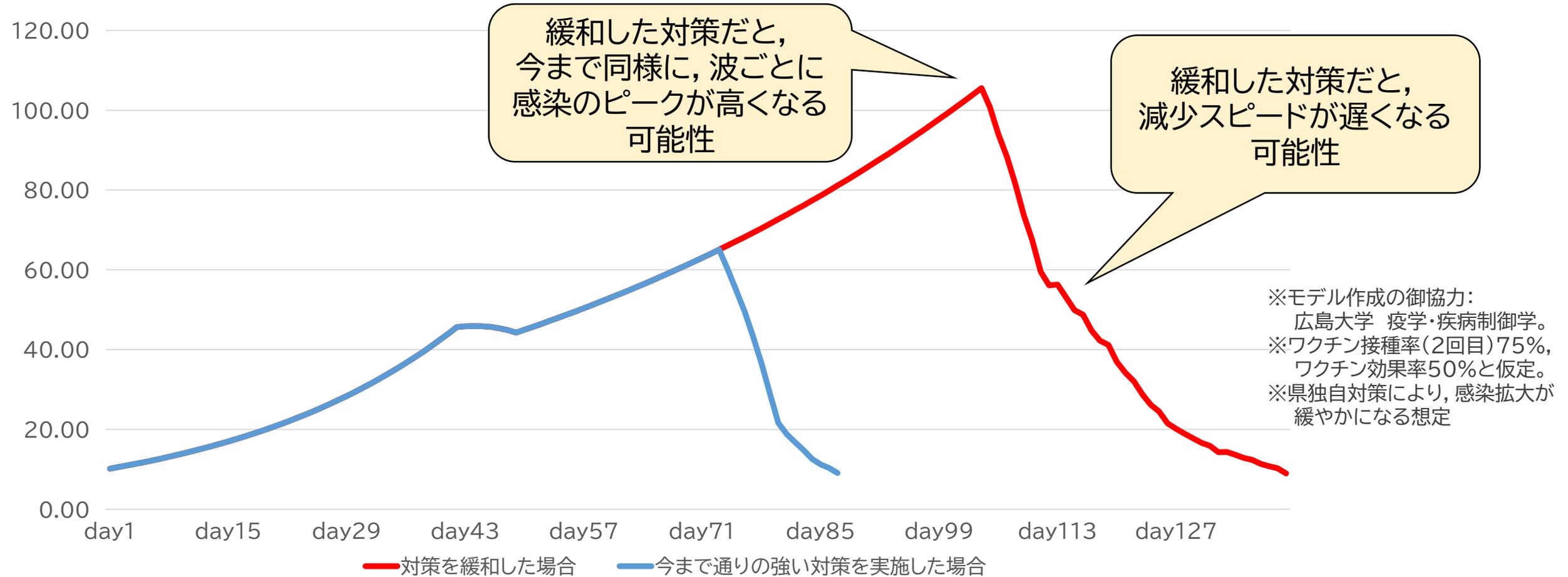
※モデル作成の御協力:
広島大学 疫学・疾病制御学。
※ワクチン接種率(2回目)75%,
ワクチン効果率50%と仮定。
※第3波:12月頃からの感染拡大
第4波:4月頃からの感染拡大
第5波:7月頃からの感染拡大
※棒グラフ上の数値は経過日数,
その他は直近1週間の人口10万人
あたりの新規報告数。

警戒基準値「4人」から
ステージ4に至るまでの日数。
平均日数は20日だった。

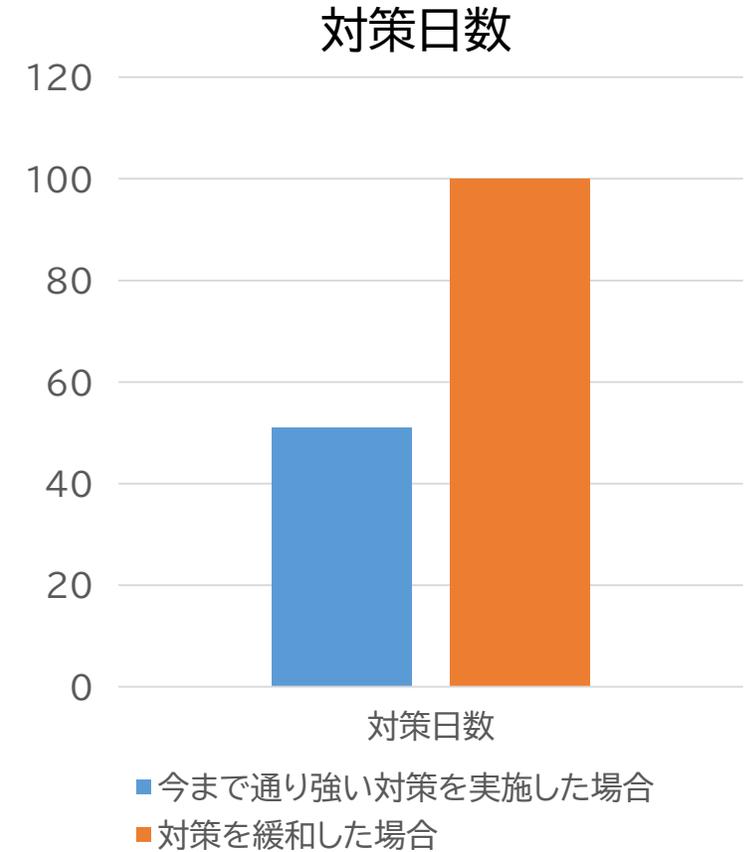
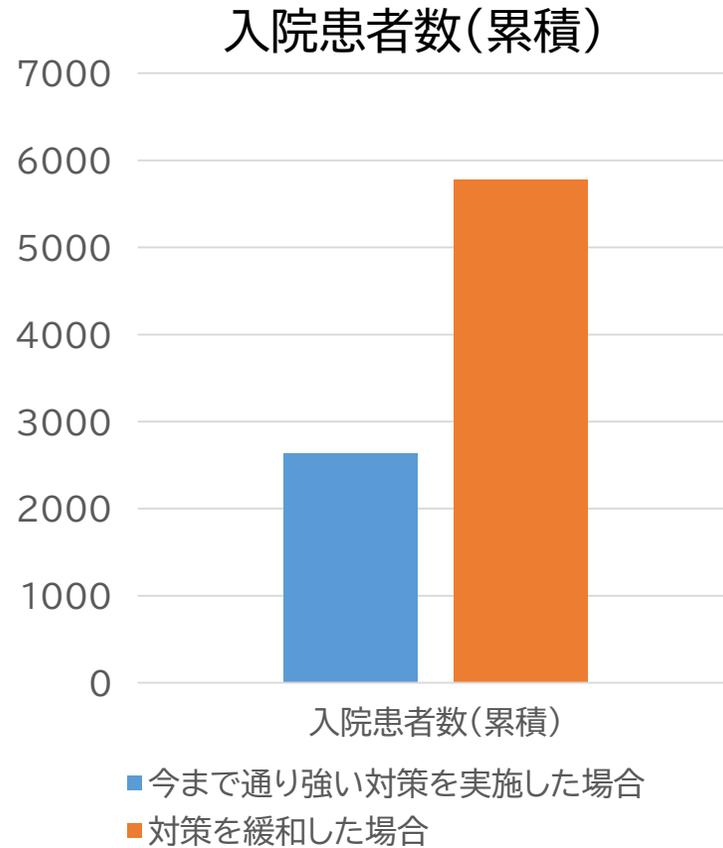
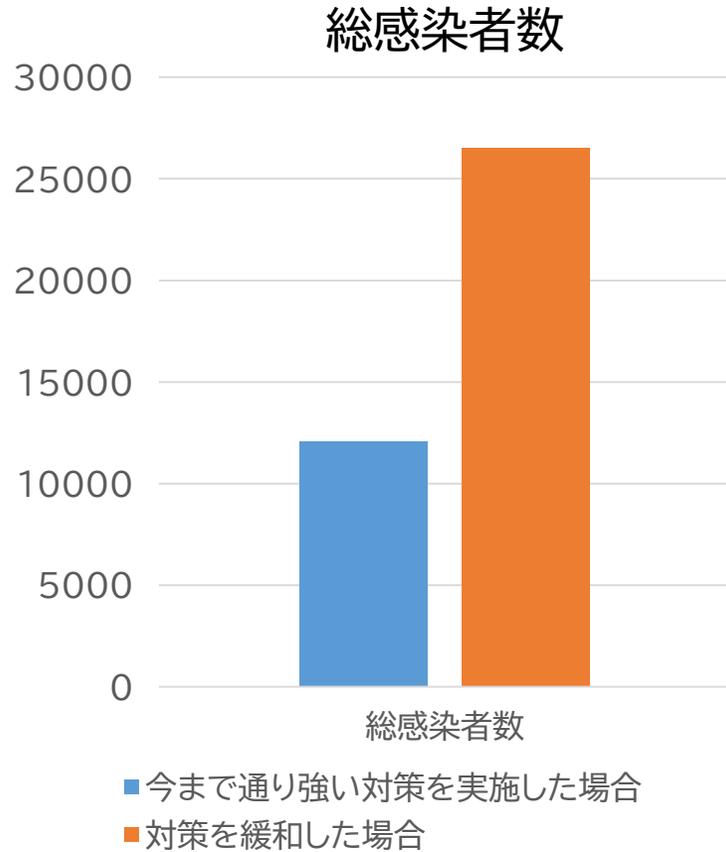
レベル3に至るまでの予測日数。
これまでのステージ4に
至るまでの日数に近いのは,
10万人対20人⇒50人の場合だが,
その際の新規報告者数は80人/日となるため,
その手前の10~15人で設定

今まで通りの対策と対策を緩和した場合の比較

直近1週間の人口10万人あたりの新規報告数



早く・深く・短い対策の必要性



※集計期間は、総感染者数及び入院患者数(累積)は直近1週間の人口10万人当たりの新規報告数が10を上回った日から10を下回った日
 対策日数は県独自対策参考値(同30を上回った日)から同15を下回った日までを集計。時間短縮及び休業要請していない対策期間も含む。

行動制限を可能な限り避ける必要があるが、対策が必要な状況においては、早く・深く・短い対策を講じる必要がある。

レベルと対策 全体像 (県対処方針より一部抜粋)

■ 感染拡大防止のための感染レベルに応じた主な対応 ※ 具体の対策は、国の基本的対処方針及び当該方針に基づく事務連絡等により実施

区分	レベル0 感染者ゼロ	レベル1 維持すべきレベル	レベル2 警戒を強化すべきレベル	レベル3 対策を強化すべきレベル	レベル4 避けたいレベル
概況	ゼロを維持できている	安定的に医療が対応できている	新規感染者が増加傾向で、医療の負荷はあるが段階的な病床増で対応できている	一般医療を相当程度制限しなければ医療が適切に対応できなくなると判断された状況	一般医療を大きく制限しても医療が対応できない
措置等	【総合的な対策の継続】 ・検査、サーベイランス ・積極的疫学調査 ・ワクチン接種、接種率向上 ・積極ガード店ゴールドの普及		【警戒の強化】 ・感染リスクの高い行動回避の呼びかけ ・検査の拡大 ・感染拡大防止に必要な対策 ・レベル3で行う対策の準備		【対策の強化】 ・県民、事業者へ強い呼びかけ ・まん延防止等重点措置 ・緊急事態措置 ・VTPの継続・停止の検討

行動制限の要請等	・外出等 (学校行事除く※1)	○基本的感染防止策の徹底 ○テレワーク、時差出勤の取組等	同左 (一層の周知)	【対策方針】 感染のピークを低く、早くピークアウトさせ、適切なタイミングで対策を実施	○外出の半減や、混雑した場所、感染リスクの高い場所への外出自粛など	○外出自粛も含めたより強い要請
	・他地域との往来 (学校行事除く※1)	○基本的感染防止策の徹底	○感染拡大地域との往来は慎重に判断 (大都市圏から地方部への拡大を抑制)		○最大限、自粛 (VTP適用 ※2)	
	・飲食店の利用 ・施設の使用	○積極ガード店ゴールドの利用 ○業種別ガイドラインの遵守	同左 (一層の周知)		○飲食店の営業時間の短縮等 (※3) ○飲食店での同一グループ・同一テーブル人数制限 (VTP適用 ※2) ○施設への入場者の整理 など	○休業要請や施設の使用停止も含めたより強い要請
	・催物 (イベント) の開催 〔広島県におけるイベントの開催条件について〕	○参加人数の制限 ※ 感染防止安全計画の策定 チェックリストによる対策 ○業種別ガイドラインの遵守	同左 (一層の周知)		○参加人数の制限 (強い制限) (感染防止安全計画の策定、 チェックリストによる対策 ※2) (VTP適用 ※2)	○中止も含めたより強い要請
	その他	○早期の受診・検査	○感染不安を感じた者への検査		○出勤者数の削減 など	○出勤者数の大幅削減

※1 学校については「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生マニュアル」を踏まえた対応を行う。

※2 「感染防止安全計画」：参加人数制限の緩和を希望するイベント事業者等が、具体的な感染防止策を定め、都道府県に提出し確認を受ける。
「VTP」：ワクチン・検査パッケージ制度 (飲食店やイベント主催者等の事業者が、利用者のワクチン接種歴又は検査結果の陰性のいずれかを確認する。)

※3 まん延防止等重点措置の場合は、認証店に21時までの営業 (酒提供可)、非認証店に20時までの営業 (酒類禁止)の要請を想定
緊急事態措置の場合は、休業又は20時までの営業 (酒類禁止)の要請を想定。ただし、知事の判断により認証店には21時までの営業 (酒提供可)を要請する場合もある。

イベントの開催条件の変更(R3.11.25～適用)

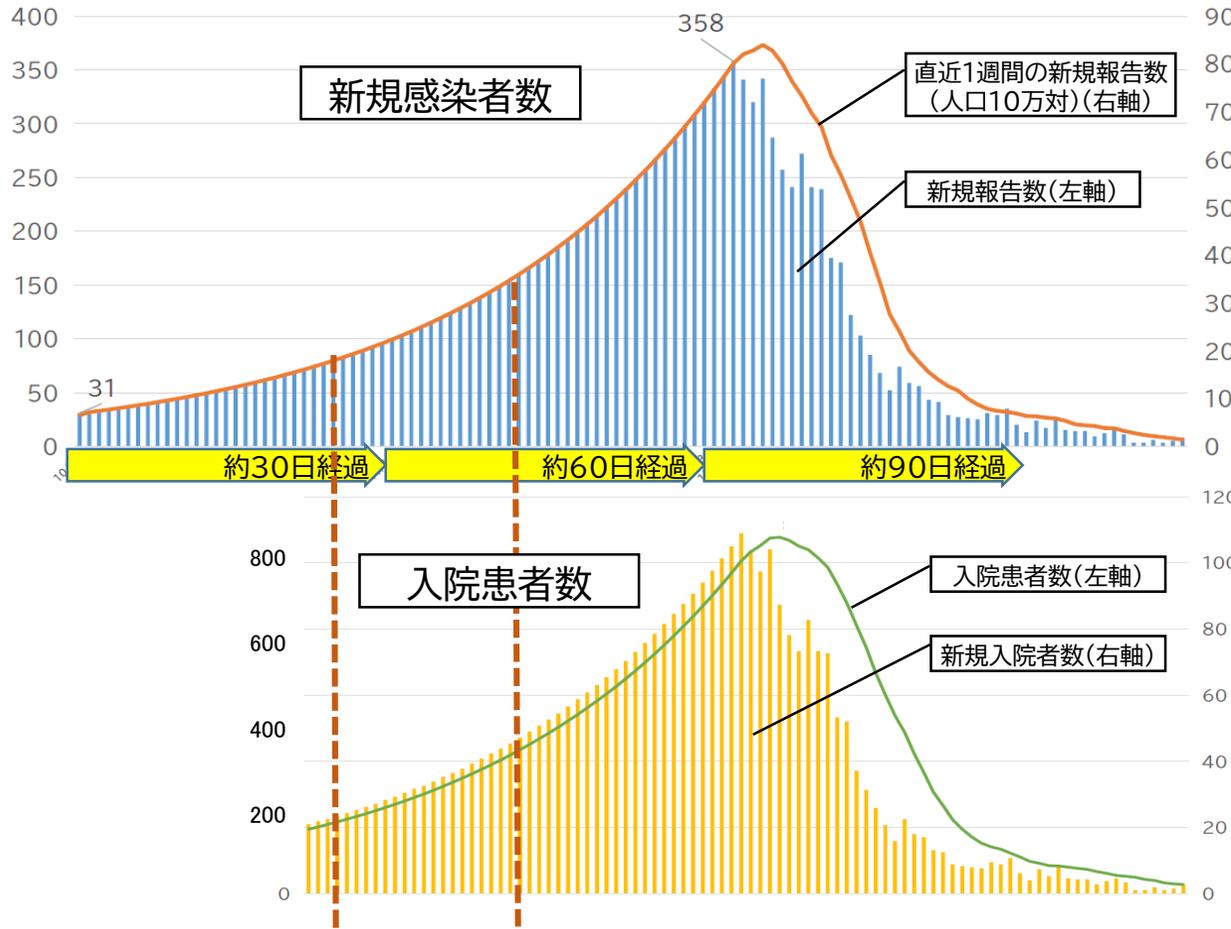
- 主催者等の「感染防止安全計画」策定と、県による確認, 必要な感染防止策を講じたイベント実施を条件に, **人数制限を緩和**
- それ以外のすべてのイベントで, 主催者等が「チェックリスト」を作成し公表
- 感染拡大により医療のひっ迫が見込まれる場合等は, ワクチン検査パッケージ制度を適用せず, 強い行動制限等を要請する場合がある

■下記の収容率と人数上限のどちらか小さい方を限度とする

		通常 の開催要件	感染防止安全計画策定 (=大声無し)
緊急事態措置	人数上限	5,000人	10,000人 ※1
	収容率	大声なし:100% 大声あり:50%	100%
まん延防止等 重点措置	人数上限	5,000人	20,000人 ※1
	収容率	大声なし:100% 大声あり:50%	100%
その他地域	人数上限	5,000人 又は 収容定員50%のいずれか大きい方	収容定員まで
	収容率	大声なし:100% 大声あり:50%	100%

※1 ワクチン・検査パッケージ制度適用で, 収容定員まで追加可

保健・医療提供体制の強化



想定患者数

区分	第6波で想定する患者数	第5波の最大値	現体制の確保数 (10/26現在)
新規感染者数/日(最大)	358人	381人	400人
入院者数(最大)	774人	487人	869床
うち重症者数(最大)	45人	23人	—
宿泊療養者数(最大)	1,971人	1,254人	2,397室
自宅療養者数(最大)	580人	1,136人	—

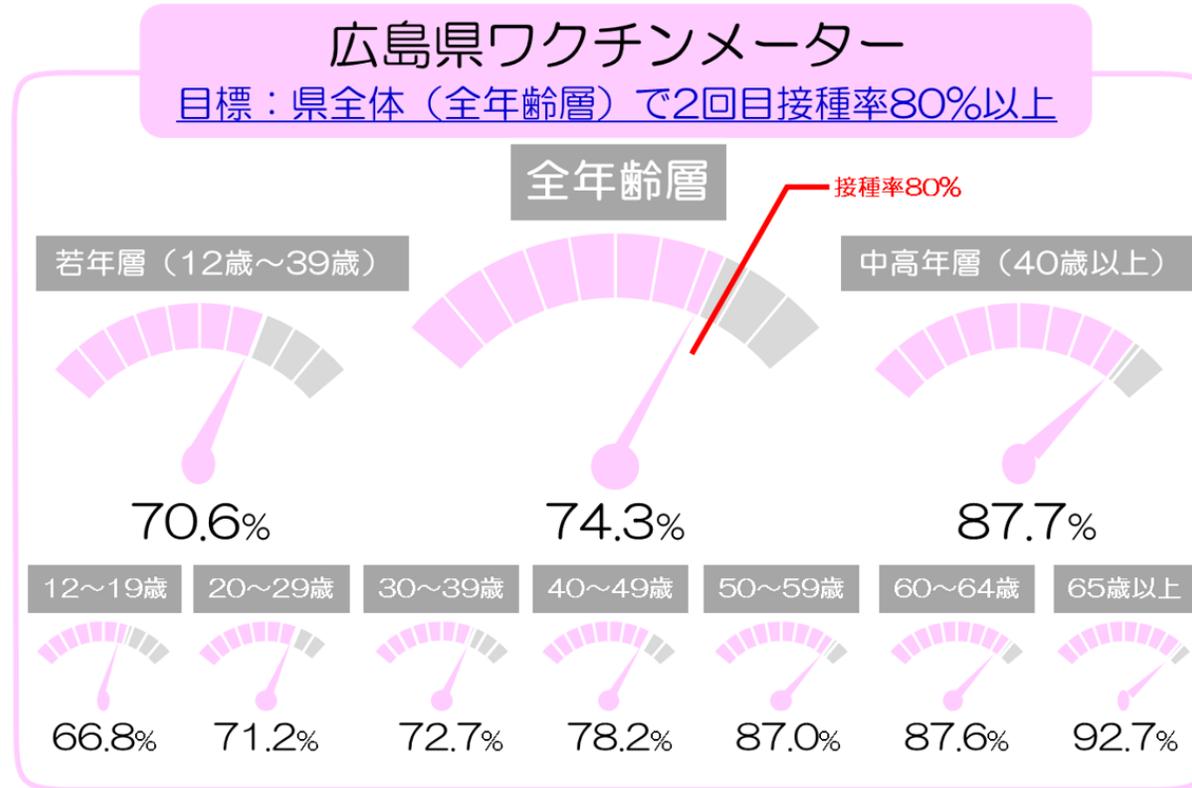
- ◇リスクシナリオ(今夏並みの感染拡大)に十分対応可能な体制を整備
- ◇全ての療養者に、必要な医療が確実に届く体制の充実を図る
(例 中和抗体療法, オンライン診療, 臨時医療施設整備 等)

県民/事業者の皆様への要請

今後は、医療提供体制の強化とワクチンの普及により、
行動制限を出来るだけ行わない方針へ
全員で平時から対策を続けることが改めて重要に

- ・マスク着用, 手洗い, こまめな換気
- ・体調不良や気になる場合は積極的に検査
- ・積極的疫学調査, 事業所PCRへの協力
- ・飲食は認証店で節度を持って楽しむ
⇒特に忘年会では, 大声で騒いだりしないよう注意を

ワクチン接種



※VRS入力情報により作成（令和3年11月28日），数値は2回目接種率。
12～14歳の人口は，10～14歳のVRS入力情報×3/5として推定。

【3回目接種】

- ・12月から順次開始
- ・2回目接種から8か月経過した方に接種券を順次発送
- ・3回目接種の前向きな検討を

【1回目・2回目接種】

- ・12月以降も接種機会を設けているため，是非接種を